



RESTART
Challenge More.

ゆうばり 市議会だより

56号
2022.8

夕張高校インターンシップ



6月24日(金)に夕張高校1年生川岸さんが議会事務局の仕事を体験しました。
体験した仕事は、議会の内容を記録する議事録の作成で、聞き馴れない言葉を一生懸命調べました。
また、議会だより作成では、「どうしたら読まれやすくなるか」を熊谷議員と意見交換しました。

* * * * *

第2回定例会市議会	一般質問	千葉 勝 議員／高間 澄子 議員	……………	P 2
第2回定例会市議会	一般質問	熊谷 桂子 議員／今川 和哉 議員	……………	P 3
夕張高校公開授業／夕張高校校長・教頭と意見交換／編集後記			……………	P 4

* * * * *

学校運営協議会で

子どもたちから意見を 聴取する考えについて



千葉 勝

千葉 学校運営協議会の具体的取り組みと地域住民との関わりや連携でどのような効果があったのか

教育長 年二回地域住民と一緒に通学路のゴミ拾いを行う事業「夕張クリーンDAY」と子どもたちの家庭学習習慣へ向けた意識の向上のため、中学校の定期テスト期間に合わせた小中合同の「家庭学習強調週間」を実施しています。

効果としては、子どもたちの家庭学習の習慣化や地域の一員としての役割の発揮に一定の効果があった。また、保護者や地域の学校支援活動が活発になった。

千葉 学校運営協議会の趣旨にもある学校運営に必要な支援を把握するために子どもたちからの意見を聴取する考えについて

教育長 小中学校で児童生徒からアンケート調査を実施していて、委員の中にPTA、校長、教頭、教職員が参画し何か意見があればそこから反映できる体制であると考えている。

千葉 教育大綱の基本理念等の確立に学校運営協議会はどのような役割を果たしてきたか

市長 教育大綱を踏まえ制度設計された、理念、目標が学校運営協議会により学校と家庭、地域が一体となった学校運営が行われ、その取り組み、効果を考えると教育大綱の確立に欠かせないものと認識している。

千葉 教育現場の負担軽減について

教育長 学校支援ボランティアによる教育活動への支援によって小学校・中学校の教職員の負担軽減につながっていると認識している。

千葉 学校運営協議会の今後の展望について

教育長 今後も、目指す子ども像や子どもたちの情報を共有しながら学校と家庭、地域が信頼関係を深め持続可能な組織づくりや児童生徒の健全育成に一体となって取り組んでいく。

地方創生臨時交付金の

活用について



高間 澄子

高間 長引くコロナ禍に加え、昨年から続く原油高騰やロシアの侵略が追い打ちをかけ、円安の影響も加わり、食料品をはじめ多くの品目が値上がりし、生活者・事業者は大きな負担を強いられている。当市においての給食費の考え方や地方創生臨時交付金の活用の考え方について伺う。一点目に学校給食の食材調達の影響について伺う。

教育長 給食費は平成二十六年度以降据え置きとしてきたが、この四月から値上げを実施。要因は生産物収穫の停滞、燃料の高騰により食材への価格転嫁により米やパン、牛乳の価格が著しく上昇したことによるもので、成長に必要な栄養価の維持が必要であると判断し、改定に至った。

高間 どの程度の値上げの改定をされたのか伺う。

教育長 小学校で一食15円、年額2,850円の値上げ。中学校で一食17円、年額3,230円の値上げを決めたところである。

高間 食材費等増額分の支援は、保育所、認定子ども園、認可外保育施設、介護施設の食事に適用が可能となっているので、検討を要望する。

高間 二点目に原油価格や物価高騰

により、市民生活・事業者に影響がある。対策として地方創生臨時交付金が創設された。市長はどこに重点をおいて交付金の活用を考えるのか伺う。

市長 交付金の趣旨は、生活支援や子育て支援、農林業や運輸交通分野の中小企業等、支援に活用できるもの。交付限度額を踏まえながら緊急性、優先度の高いものから活用を考えていく。

高間 遺族がおくやみの手続きをする場合、庁舎内1〜3階を行き来しての手続きが大きな負担となっている。一つの窓口で手続きが完了すれば市民サービスの向上に繋がると考えるが市長の見解を伺う。

市長 各システムの一元管理、スペースの変更等克服する課題がある。**高間** 課題解消が必要であるならば、市民の待機場所を設置し、担当職員が出向き手続きを行ってはどうか。

市長 相談者がスムーズに手続きを行えるように、チェックシートを市民課窓口で配付しているが、さらに職員が次の申請場所に行き、手続きのサポートを行う。手続きに迷われている方への声掛け等、できることは見直していく。

「LGBTQの方たちも安心して暮らせるまち」にするために



熊谷桂子

― 学校現場では ―

熊谷 全体の8〜10%を占めるLGBTQ等について、学校においての相談件数と、不登校ほどの程度いるのか？

教育長 LGBTQ等の相談は現在のところ報告はない。不登校については、児童生徒の事情により一定程度いる。

熊谷 児童生徒や教職員への啓蒙的な教育や、研修についての取り組みは？

教育長 中学校では社会科、保健体育、さらに、家庭科の教科書に「LGBTについて考える・話し合う」等のタイトルで掲載されており、授業を通して教育が行われている。小学校では、養護教諭が性の多様性について授業を行い、道徳や特別活動においても、「様々な違いを認め合う」授業もある。教職員については、実践や研修報告などのデータがインターネット上に公開され、さらに、公的な研修機関のLGBTに関する知識やいじめ被害などとの関連、児童生徒に対するかわり方などの研修

動画等を活用していくことが大切だと考える。

熊谷 制服について、選択肢は？

教育長 中学校においては男女とも、スカート・スラックスを選択できる。

― 市民生活の場では ―

熊谷 国が同性婚を認めないことについて、札幌地裁では違憲判決が出た。さらに今年4月、全国の人口の半分を超える自治体で「同性パートナー」が不利益にならないよう「パートナーシップ制度」が導入された。

パートナーシップ制度はこれまで札幌をはじめ、全国で200を超えてる自治体が導入し、秋には東京、さらに帯広、室蘭などでも導入の意向が表明された。「誰もが安心して暮らせるまち」にするために本市においても導入すべきでは？

市長 制度の必要性については認めるが、今の「夕張市の市民ニーズ」や「道内の他自治体の動向」から、直ちに制度導入が必要か慎重に考えていきたい。

※LGBTQの性的少数派

「市長・議員選挙での投票者増加・選挙啓発の促進について」



今川和哉

今川 投票者増を図る取り組みの実施状況について、直近の選挙における投票結果をどのように分析し、投票率向上を目指して行政としてどのような取り組みを行ってきているのか伺う。

選挙管理委員長 夕張市で行う

国政選挙・地方選挙の投票率が、全体として低下傾向にあるとは言い難く、立候補者の数など、有権者の注目度によっても選挙ごとに投票率は変わる。一度、二度の選挙結果で拙速に判断することはできないと考える。投票率向上に向けた取り組みとして、各種施設内でのポスター掲示や、広報車での街頭宣伝、ティッシュ配布など選挙管理委員会が一般的に実施している広報活動のほか、選挙権が18歳以上となる法改正がなされたことを踏まえ、若年層に対する投票率向上対策として、選挙制度を平易に解説した小冊子を作成し、毎年度、夕張高校生に配布を行っている。

員選挙が予定されており、選挙管理委員会が発行する選挙公報のような文書による各候補者の訴えを有権者が比較し、投票判断をすることが重要ではないか。

選挙管理委員長 当市は平成19

年4月に実施した市長・市議会議員選挙より、選挙公報の発行を行っていない、同年より本市が全国唯一の財政再建団体となったことにより、財政再建のため削減可能な経費を全てカットしたことが主要因で、選挙管理委員会事務局は全て兼務発令として、職員は非常にタイトなスケジュールで二つの職場の業務を行い、選挙における事務については立候補受付から開票までの作業に注力させる必要があることも要因のひとつである。

今川 他自治体では、新聞折込、

町内会やシルバー人材センターによる配布、郵送や公共施設へ設置、といった手段をとっているところ、当市でも選挙公報の新聞折込、公共施設・郵便局等の設置に加えて事前の広報誌による郵送先の登録と、ホームページへのデータ掲載等の方法は可能と考え、費用の算出含め検討を求める。

今川 選挙公報の導入について、

現在夕張市長選挙・夕張市議会議員選挙については、選挙公報を発行していない。来年には、市長・市議会議

電子黒板やタブレットを使用した 夕張高校公開授業を見学

**北海道夕張高等学校
公開授業週間**

日時：6月20日（月）～24日（金）
8時50分～15時10分
(12時40分～13時20分は除く)



夕張高校では、夕張市唯一の高校として、現在51名の生徒が在籍しております。
夕張高校で一生懸命学んでいる生徒達の姿をぜひご覧ください。

・本校のホームページも随時更新中です！→
・本件に関するお問い合わせ先：0128-59-7110（原野）



作成：ワーフロ部 2年・中川あかり

6月23日（木）2校時、はじめて夕張高校の授業を見学して、電子黒板やタブレットを使用した授業に驚いたと同時に少人数進学コースのきめ細やかな指導、パソコンを活用した総合の「地元特産品を作る実践授業」に感激しました。

私達が学んだあの時代とは授業風景がすっかり変わっていましたが、学ぶ意欲に満ちた生徒たちの目の輝きは昔と変わりません。懐かしい気持ちになりました。



濱村校長・尾崎教頭と 高校魅力化や地域活性化 について意見交換



授業見学後には、濱村校長・尾崎教頭と高校魅力化について、地域と高校との連携による地域活性化や、進路先として地元企業とどのようにマッチングさせるかなどを意見交換し、高校魅力化について改めて考えさせられる有意義な時間になりました。

夕張市議会だより編集委員会

委員長	君島孝夫
副委員長	熊谷桂子
委員	小林尚文
委員	本田靖人
委員	千葉勝
委員	高間澄子
委員	今川和哉

夕張をより深く知って頂き、課題も受け止めた卒業、その先を見据えた魅力ある夕張に向けてご意見を頂けたら嬉しいです。

夕張をより深く知って頂き、課題も受け止めた卒業、その先を見据えた魅力ある夕張に向けてご意見を頂けたら嬉しいです。

夕張をより深く知って頂き、課題も受け止めた卒業、その先を見据えた魅力ある夕張に向けてご意見を頂けたら嬉しいです。

夕張高校一年生のインターンシップが授業の一環として「夕張を知る」と言うテーマに基づき進められました。生徒の皆さんには市長より辞令交付が行われ住民サービスを支える市内施設の見学や、市役所各課、教育委員会、議会、消防署など十二の職場で体験を行いました。

編集後記